

11月4日(金) 第1会場 上條記念館1階「上條ホール」

8:55～9:00 開会式

9:00～9:30 大会長講演

座長：河田 興（摂南大学 薬学部）

小児医療を支える力

佐々木忠徳（昭和大学薬学部）

9:40～11:00 教育講演 1

座長：三邊 武彦（昭和大学 統括研究推進センター）

EL1 小児医薬品開発促進に向けた最近の取組み

崎山美知代（医薬品医療機器総合機構）

11:10～12:30 プレナリーセッション

座長：田中 克巳（昭和大学 統括薬剤部）

PS-01 薬剤耐性 (AMR) 資材配布企画が地域薬剤師に与えた影響の調査研究：小児薬物療法研究会で啓発活動を続ける意義の考察

大山かがり（一般社団法人ヒューメディカ 新つるみ薬局）

PS-02 6歳未満の小児における服薬方法ごとの服薬実態と保護者が薬剤師に求める情報：記述的横断研究

金加 愛海（株式会社なの花西日本）

PS-03 大規模診療報酬請求情報データベースを用いた、日本の小児患者における降圧薬の適応外使用実態調査

三上 唯人（慶應義塾大学 薬学部医薬品開発規制科学講座）

PS-04 新生児薬物離脱症候群に影響する薬剤の使用実態調査

川田 希帆（大阪急性期・総合医療センター 薬局）

PS-05 年齢区分に着目した小児バンコマイシン血中濃度に対する発熱性好中球減少症の影響

小野 寛之（大分大学 医学部附属病院 薬剤部）

PS-06 小児への薬の剤形を考えるー低年齢小児における錠剤の処方実態調査ー

諸 美弥子（株式会社 Las hemanas きはら薬局）

12:40～13:30 ランチョンセミナー 1

共催：エーザイ株式会社

座長：加藤 光広（昭和大学 医学部小児科学講座 / 昭和大学病院 てんかん診療センター）

LS1 シナプス生理学の translational medicine

高橋 琢哉（横浜市立大学大学院医学研究科 生理学）

13:40～14:20 日本小児臨床薬理学会 総会

14:20～14:40 大西記念小児臨床薬理学会賞記念講演

座長：中村 秀文（国立成育医療研究センター）

乳糖水和物中に含まれる牛乳アレルギー誘引タンパク質の測定系の検討

八島 秀明（群馬大学大学院医学系研究科 臨床薬理学講座）

14:50～15:50 一般演題（口演）発表1

座長：肥田 典子（昭和大学薬学部 臨床薬学講座臨床研究開発学部門）

O1-01 トスフロキサシン内服中に低血糖による初発のけいれんを来した一例

篠田 敦志（藤沢市民病院 薬局）

O1-02 小児T-ALL 治療中に運動障害を発現した症例への薬剤因果関係の検討

小山佐知子（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 薬剤部）

O1-03 先天性心疾患小児患者におけるバンコマイシン母集団薬物動態解析－成長・発達遅延を考慮した薬物動態モデルの構築－

島本 裕子（国立循環器病研究センター 薬剤部）

O1-04 大規模診療報酬請求情報データベースを用いた、日本の小児患者におけるオピオイド製剤の適応外使用実態調査

中尾 将大（慶應義塾大学 薬学部医薬品開発規制科学講座）

O1-05 小児アトピー性皮膚炎患者における Finger Tip Unit を基準としたステロイド外用剤処方量の過不足：記述的横断研究

松木 史（株式会社なの花西日本 なの花薬局ミュージズイースト店）

O1-06 大腸 DDS 技術を用いた新規ジプロピオン酸ベクロメタゾン製剤開発

内田 淳（山梨大学医学部附属病院 薬剤部）

O1-07 小児短腸症候群患者におけるテデュグルチドの有効性の検討

村松 脩（静岡県立こども病院 薬剤室）

16:00～18:00 シンポジウム1

小児用製剤の現状と展望

座長：並木 徳之（帝京平成大学 薬学部薬学科）

SY1-1 製薬企業側からみる小児用製剤開発の課題とこれまでの対策例

迫 和博（静岡県立大学 薬学部）

SY1-2 小児製剤開発の現状と課題

高江 誓詞（アステラス製薬株式会社 製薬技術本部製剤研究所）

SY1-3 小児用製剤の理想とする製品プロファイル－ジェネリックメーカーでの製剤開発の展望－

中村 豪之（東和薬品株式会社 経営戦略本部）

11月4日（金） 第2会場 上條記念館4階「赤松」

12:40～13:30 ランチョンセミナー2

共催：ファイザー株式会社

座長：並木 徳之（帝京平成大学薬学部・大学院薬学研究科物理薬剤学ユニット）

LS2 バイオシミラー使用促進の意義と導入事例

川上 純一（浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部）

14:50～16:00 一般演題（口演）発表2

座長：藤原 久登（昭和大学 病院薬剤学講座）

O2-01 薬剤師の介入により服薬拒否が解消した Crohn 病の14歳男児例

藤田有紀子（独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 薬剤部）

O2-02 バンコマイシンのクリアランスが大きいため持続投与を行った乳児の1症例

大柿 景子（自治医科大学附属病院 薬剤部）

O2-03 大規模診療報酬請求情報データベースを用いた、日本の小児患者における糖尿病用薬の適応外使用実態調査

平野 航太（慶應義塾大学 薬学部医薬品開発規制科学講座）

O2-04 新生児集中治療室 (NICU) における薬剤師の関わり

桑原 純（福岡市立こども病院 薬剤部）

O2-05 チョコレートホイップクリームがシクロスポリン細粒の血中濃度に影響を与えたと考えられた1症例について

永井絵里子（大阪母子医療センター 薬局）

O2-06 当院における AMR アクションプラン策定前後の抗菌薬処方実態と AMR に対する保護者の意識調査

久保美由紀（医療法人啓信会京都きづ川病院 薬剤科）

O2-07 チャット機能を活用した小児在宅医療のシームレスな薬剤管理

信安 恵見（株式会社大和調剤センター ぞうしき薬局）

O2-08 早産児における新生児期の医薬品添加剤によるプロピレングリコール曝露量の検討

三宅沙央莉（社会医療法人愛仁会高槻病院 薬剤科）

O2-09 当科における母乳バンクのドナー登録可能施設としての取り組み

田中 敏博（静岡厚生病院 小児科）

11月5日(土) 第1会場 上條記念館1階「上條ホール」

9:00～10:30 教育講演2

座長：山元 俊憲（公益財団法人昭和大学 医学・医療振興財団）

EL2 ADHDの理解と支援～当事者として、支援者として～
高山 恵子（ハーティック研究所）

10:40～12:10 シンポジウム3

若手医師・薬剤師にとって魅力のある小児の臨床薬理学・臨床薬学のために

座長：石川 洋一（明治薬科大学 小児医薬品評価学研究室）
中村 秀文（国立成育医療研究センター）

SY3-1 小児腫瘍領域における臨床薬理学
竹内 正宣（横浜市立大学附属病院 小児科）

SY3-2 新規小児用剤形の服用性試験から感じる小児臨床薬理学の魅力
肥田 典子（昭和大学 薬学部 臨床薬学講座 臨床研究開発学部門）

SY3-3 NICUにおける薬剤師の役割と貢献
丹沢 彩乃（国立成育医療研究センター 薬剤部）

SY3-4 在宅医療における薬局薬剤師の臨床・研究活動
～薬剤師が社会に働きかけていく姿の概念化～
川名三知代（ココカラファイン薬局砧店）

SY3-5 小児感染症臨床医から見た臨床薬理学の魅力・重要性
庄司 健介（国立成育医療研究センター 感染症科）

12:20～13:10 ランチョンセミナー3

共催：第一三共株式会社

座長：肥田 典子（昭和大学薬学部 臨床薬学講座臨床研究開発学部門）

LS3 苦い“くすり”を苦くない“くすり”にする製剤設計
並木 徳之（帝京平成大学薬学部 物理薬剤学ユニット／静岡県立大学薬学部）

13:20～14:10 共催セミナー2

共催：アストラゼネカ株式会社

座長：富田 英（昭和大学病院 小児循環器・成人先天性心疾患センター）

KS2 成人先天性心疾患の現状と将来の問題点 ―長期予後と心不全―
丹羽公一郎（聖路加国際病院 心血管センター）

明日と未来の臨床に役立つ小児臨床薬理学

座長：山谷 明正（国立成育医療研究センター 薬剤部）

伊藤 秀一（横浜市立大学大学院 医学研究科発生成育小児医療学）

SY5-1 小児になぜ臨床薬理学が必要か

中村 秀文（国立成育医療研究センター 研究開発監理部）

SY5-2 病院薬剤部における臨床薬理学

齊藤 順平（国立成育医療研究センター 薬剤部）

SY5-3 遺伝薬理学（Pharmacogenomics）

曳野 圭子（理化学研究所生命医科学研究センター ファーマコゲノミクス研究チーム）

SY5-4 実践 TDM！バンコマイシンを例に

庄司 健介（国立成育医療研究センター 感染症科）

SY5-5 小児にとってより良い製剤の検討

原田 努（昭和大学 薬学部基礎医療薬学講座 薬剤学部門）

11月5日(土) 第2会場 上條記念館4階「赤松」

9:00～10:30 シンポジウム2

DOHaDが目指す薬物療法の未来

座長：水野 克己（昭和大学医学部小児科学講座 小児内科学部門）

SY2-1 薬剤とDOHaDの基本事項

中野 有也（昭和大学江東豊洲病院 小児内科）

SY2-2 NAFLDにおける小胞体ストレス～胆汁酸シャペロンによる低出生体重児関連NAFLD治療の可能性～

伊東 宏晃（浜松医科大学 産婦人科）

SY2-3 エピゲノム記憶からみた肥満の個人差と精密医療への展望

橋本 貢士（獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

11:00～11:50 共催セミナー1

共催：ニプロ株式会社

座長：山元 恵子（富山福祉短期大学）

KS1 小児集中治療室で取り組む多職種協働のタスク・シフト/シェア

佐野 美香（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター）

12:20～13:10 ランチョンセミナー4

共催：バイエル薬品株式会社

座長：佐々木忠徳（昭和大学薬学部 臨床薬学講座 医薬品適正使用学部門）

LS4 循環器領域における、抗血栓療法の変遷

新家 俊郎（昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門）

13:20～14:10 共催セミナー3

共催：東和薬品株式会社

座長：田中 克巳（昭和大学 統括薬剤部）

KS3 持続可能な病院運営のために薬剤師ができること

～ジェネリック/バイオシミラーの導入とタスクシフティング～

小池 博文（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

小児における Model informed Precision Dosing – Now and Future –

座 長：木村 利美（順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部）

SY4-1 小児の抗微生物薬投与における Model informed Precision Dosing

庄司 健介（国立成育医療研究センター 感染症科）

SY4-2 臨床における Virtual Twin の適合

大島 由規（順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部）

SY4-3 生理学的薬物速度論（PBPK）モデルを用いた小児薬物動態の予測

奥平 典子（Certara UK, Simcyp Division）

SY4-4 PBPK モデル解析を利用した医薬品開発の現状と関連ガイドラインの動向

木島 慎一（医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部）

SY4-5 シンシナティ小児病院における Model-Informed Precision Dosing の研究と臨床実装

水野 知行（シンシナティ小児病院 臨床薬理学部門）

11月4日（金）～5日（土）ポスター（オンデマンド口演）

一般演題（ポスター・オンデマンド口演）

- P-01 緑茶成分L-Theanineの乳汁移行性に関する非臨床的検討
吉野 愛（摂南大学薬学部 実践薬学研究室）
- P-02 成年年齢引き下げに伴い、成人となった被験者からの治験の同意取得—「同意能力の有無」を考える—
望月 聡（地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター 臨床研究所治験管理室）
- P-03 こども病院におけるポリエチレングリコール製剤使用の実態
岡山 敦子（社会医療法人真美会大阪旭こども病院 薬剤科）
- P-04 院内製剤プロプラノロールクリーム製の製剤学的評価及び乳児血管腫患者に対する臨床評価
柏倉 康治（静岡県立大学 薬学部実践薬学分野）
- P-05 小児に対する抗菌薬の適正使用に向けた調査—カルニチン製剤投与患者へのピボキシル基含有抗菌薬の処方状況—
下元 茉莉（高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 薬剤局）
- P-06 若年成人での visual analogue scales による口腔内崩壊錠服用性評価法の検討
三浦 基靖（静岡県立大学 薬学部実践薬学分野）
- P-07 小児領域における施設間情報連絡書の有用性の検討
高見 麻友（近江八幡市立総合医療センター 薬剤部）
- P-08 眼筋型重症筋無力症に対してジスチグミンを投与した一幼児例
佐藤 誠一（飯田市立病院 薬剤部）
- P-09 4歳以上15歳未満の焦点てんかん患者に対するラコサミド単剤療法の有効性と安全性の検討
村社 計寿（草加市立病院 薬剤部）
- P-10 重症心身障害児（者）や筋ジストロフィーの患者の薬物療法における多職種の連携の必要性
岩田 怜奈（独立行政法人国立病院機構長良医療センター 薬剤部）
- P-11 小児用コロナワクチンに対する接種開始前の意識調査
十川 友那（三豊総合病院 薬剤部）
- P-12 ピボキシル基含有抗菌薬の内服中にみられる低血糖と血清アシルカルニチン濃度 / 血清遊離カルニチン濃度比の上昇
鈴木 清高（国立病院機構 豊橋医療センター）
- P-13 カルニチン欠乏症の診断と治療を支援する AI Chatbot の開発
小野寺みさき（北里大学病院 薬剤部）
- P-14 小児特発性ネフローゼ症候群初発患者における副腎皮質ステロイド投与に伴う眼圧上昇の実態調査
山口 紗季（国立成育医療研究センター 薬剤部）

- P-15 モビコール[®] 配合内用剤（マクロゴール 4000）の溶剤による味覚に関する検討
早川 朋子（東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部）
- P-16 乳児血管腫患者に対するプロプラノロールクリームの有効性及び安全性
永田 絵子（浜松医科大学小児科）
- P-17 デカドロン[®] エリキシルの服薬コンプライアンス向上に関する検討
河瀬 志保（地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立舟入市民病院 薬剤科）
- P-18 薬薬連携の充実に向けて—アドレナリン自己注射手技獲得に関する体制構築とその評価—
門田 亜紀（高知大学医学部附属病院 薬剤部）
- P-19 重症心身障害児等におけるセレン欠乏症患者の QOL 向上に向けた取り組み—新規セレン内用速崩錠の開発—
加賀屋陽子（高知大学医学部附属病院 薬剤部）
- P-20 バクタミニ[®] 配合錠の使用実績調査
松浦 優里（国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 薬剤部）
- P-21 服薬支援ツール「ワルファリンクイズ」の開発と有用性の検討
澤井 珠紀（静岡県立こども病院 薬剤室）
- P-22 粉砕調剤したカンデサルタンの平均含有量の比較を用いた粉砕調剤の確立
山本 秀紀（国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 薬剤部）
- P-23 「母乳と薬相談外来」相談薬剤からみた母乳哺育に関する情報提供ニーズが高い薬剤の実態調査
青木 悟（昭和大学 薬学部病院薬剤学講座）
- P-24 「母乳と薬相談外来」相談妊婦より出生した児の新生児合併症と身体的成長の評価
田川 菜緒（昭和大学 薬学部病院薬剤学講座）
- P-25 川崎病と診断された患児の急性期治療と血清 Na 値の変動について
寺岡 知香（大阪急性期・総合医療センター 薬局）
- P-26 コハク酸エステル型ステロイドによる薬疹の 1 例
伊藤 綾花（昭和大学江東豊洲病院 薬剤部）
- P-27 ω 3 系脂肪酸製剤 (Omegaven[®]) の分注後安定性の検討について
本上ほなみ（兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部）
- P-28 当院における新型コロナウイルス感染症の小児科患者数推移とワクチン接種率の報告
平島佳代子（社会医療法人財団新和会八千代病院 薬剤部）